



## CHAPTER 9

# Cisco Unity Connection 8.x のコール ルーティング テーブルの管理

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 8.x のデフォルト コール ルーティング ルールの概要」 (P.9-1)
- 「Cisco Unity Connection 8.x のコール ルーティング ルールの追加」 (P.9-2)
- 「Cisco Unity Connection 8.x のコール ルーティング ルールの変更」 (P.9-2)
- 「Cisco Unity Connection 8.x の電話言語設定の変更」 (P.9-3)
- 「Cisco Unity Connection 8.x でのコール ルーティング ルールの順序変更」 (P.9-4)
- 「Cisco Unity Connection 8.x のコール ルーティング ルールの削除」 (P.9-4)

## Cisco Unity Connection 8.x のデフォルト コール ルーティング ルールの概要

Cisco Unity Connection には、ユーザおよび識別できない発信者からのコールを処理する 2 つのコール ルーティング テーブルがあります。1 つは直接コール用で、もう 1 つは転送コール用です。

直接ルールは、Connection に直接ダイヤルしたユーザおよび識別できない発信者からのコールを処理します。事前定義済みの直接ルーティング ルールには、次のものがあります。

- サインイン試行：ユーザからのコールが、ユーザ サインイン カンバセーションにルーティングされます。
- ガイダンス：識別できない発信者からのコールが、ガイダンスにルーティングされます。

転送ルールでは、ユーザの内線、またはユーザ アカウントに関連付けられていない内線（会議室など）から Connection に転送されたコールが処理されます。事前定義済みの転送ルーティング ルールには、次のものがあります。

- 転送試行：ユーザの内線に転送されたすべてのコールが、ユーザのグリーティングにルーティングされます。
- ガイダンス：ユーザ アカウントに関連付けられていない内線から転送されたコールが、ガイダンスにルーティングされます。

それぞれのルーティング テーブルに追加したルールに対する、サインイン試行ルールと転送試行ルールの順序を変更できますが、どちらのテーブルでもガイダンス ルールは必ず最後のエントリになります。事前定義されたルールは削除できません。

新しいルールを作成するときは、コールのルーティングに使用する基準だけを指定し、ページのその他のフィールドは空白のままにしてもかまいません。空白フィールドはすべてに一致します。たとえば、[ポート (Ports)] フィールドを空白のままにすると、ルールはすべてのポートからの通話に適用されます。

## Cisco Unity Connection 8.x のコール ルーティング ルールの追加

### コール ルーティング ルールの追加方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で [コール管理 (Call Management)] を展開し、[コール ルーティング (Call Routing)] を展開します。直接コールの場合は、[直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules)] を選択します。転送コールの場合は、[転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules)] を選択します。
- ステップ 2** [直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules)] ページまたは [転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3** [直接ルーティング ルールの新規作成 (New Direct Routing Rule)] ページまたは [転送ルーティング ルールの新規作成 (New Forwarded Routing Rule)] ページで、新しいサービスの名前を [表示名 (Display Name)] フィールドに入力します。
- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5** [直接ルーティング ルールの編集 (Edit Direct Routing Rule)] ページまたは [転送ルーティング ルールの編集 (Edit Forwarded Routing Rule)] ページで、該当する設定の入力を続けます (フィールド情報については、[ヘルプ (Help)] メニューで、[このページ (This Page)] を選択してください)。



**(注)** 新しいルールを作成するときは、コールのルーティングに使用する基準だけを指定し、ページのその他のフィールドは空白のままにしてもかまいません。空白フィールドはすべてに一致します。たとえば、[ポート (Ports)] フィールドを空白のままにすると、ルールはすべてのポートからの通話に適用されます。

- ステップ 6** 設定の入力が終了したら、[保存 (Save)] を選択します。

## Cisco Unity Connection 8.x のコール ルーティング ルールの変更

### コール ルーティング ルールを変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で [コール管理 (Call Management)] を展開し、[コール ルーティング (Call Routing)] を展開します。直接コールの場合は、[直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules)] を選択します。転送コールの場合は、[転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules)] を選択します。

- ステップ 2** [直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules) ] または [転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules) ] ページで、変更するコール ルーティング ルールの表示名を選択します。
- ステップ 3** [直接ルーティング ルールの編集 (Edit Direct Routing Rule) ] ページまたは [転送ルーティング ルールの編集 (Edit Forwarded Routing Rule) ] ページで、必要に応じて設定を変更します (フィールド情報については、[ヘルプ (Help) ] メニューで、[このページ (This Page) ] を選択してください)。



(注) 空白フィールドはすべてに一致します。たとえば、[ポート (Ports) ] フィールドを空白のままにすると、ルールはすべてのポートからの通話に適用されます。

- ステップ 4** ページで設定の入力が終了したら、[保存 (Save) ] を選択します。



(注) デフォルト コール ルーティング ルールが非アクティブに設定されていると、コールがループする可能性があります。ルーティング ルールを変更する際に、すべてのコールが正しくルーティングされることを確認してください。

## Cisco Unity Connection 8.x の電話言語設定の変更

### ルーティング ルールの電話言語設定の変更方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で [コール管理 (Call Management) ] を展開し、[コールルーティング (Call Routing) ] を展開します。直接コールの場合は、[直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules) ] を選択します。転送コールの場合は、[転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules) ] を選択します。
- ステップ 2** [直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules) ] または [転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules) ] ページで、変更するコール ルーティング ルールの表示名を選択します。
- ステップ 3** [直接ルーティング ルールの編集 (Edit Direct Routing Rule) ] または [転送ルーティング ルールの編集 (Edit Forwarded Routing Rule) ] ページで、[システムのデフォルト言語を使用 (Use System Default Language) ] または [発信者から言語を継承する (Inherit Language from Caller) ] を選択するか、リストから言語を選択します。
- ステップ 4** [保存 (Save) ] を選択します。

# Cisco Unity Connection 8.x でのコール ルーティング ルールの順序変更

## コール ルーティングの順序の変更方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で [コール管理 (Call Management)] を展開し、[コール ルーティング (Call Routing)] を展開します。直接コールの場合は、[直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules)] を選択します。転送コールの場合は、[転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules)] を選択します。
- ステップ 2** [直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules)] ページまたは [転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules)] ページで、[順序の変更 (Change Order)] を選択します。
- ステップ 3** [直接ルーティング ルールの順序の編集 (Edit Direct Routing Rule Order)] ページまたは [転送ルーティング ルールの順序の編集 (Edit Forwarded Routing Rule Order)] ページの再編成リストで、移動するルールの名前を選択し、必要に応じて上向きまたは下向き矢印を選択します。
- ステップ 4** ルールの順序変更が終了したら、[保存 (Save)] を選択します。

# Cisco Unity Connection 8.x のコール ルーティング ルールの削除

## コール ルーティング ルールの削除方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で [コール管理 (Call Management)] を展開し、[コール ルーティング (Call Routing)] を展開します。直接コールの場合は、[直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules)] を選択します。転送コールの場合は、[転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules)] を選択します。
- ステップ 2** [直接ルーティング ルール (Direct Routing Rules)] ページまたは [転送ルーティング ルール (Forwarded Routing Rules)] ページで、削除するルールの表示名を選択します。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 4** 削除の確認を求めるときのダイアログボックスで、[OK] を選択します。